

モルセレーション式子宮鏡下手術を 導入します！

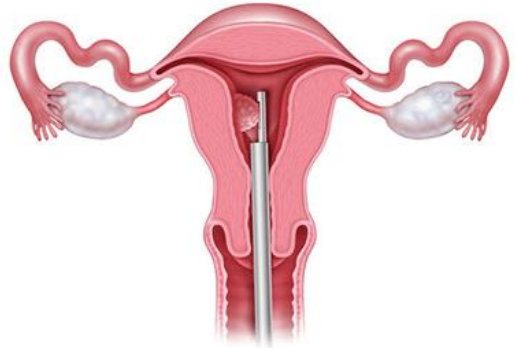
4月1日に県立広島病院の生殖医療科より、原鐵晃（はら てつあき）医師が着任しました。
火曜日・金曜日に勤務します。

原鐵晃医師は、子宮鏡検査・子宮鏡下手術の経験が大変豊富で、これまで約1000例の子宮鏡下手術を経験してきました。

原鐵晃医師の赴任に伴い、当科では産婦人科内視鏡手術の分野で近年注目されている『モルセレーション式子宮鏡下手術』を導入することとなりました。

モルセレーション式子宮鏡下手術とは？

- ・電気メスや鉗を使用せずに、細径の子宮鏡に装着されたモルセレーターで直視下に病変を器械的に細切して切除します。
- ・細切された組織片は、器械的に吸引除去されるため、視野を常にクリアに保つことができます。
- ・多発性であっても切除可能です。
- ・子宮内膜への焼灼によるダメージがありません。
- ・細径であるため、術前の頸管拡張の必要がなく、“日帰り手術”が可能です。

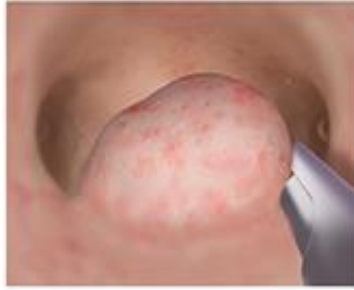


○適応症例は、子宮内膜ポリープ、子宮筋腫、慢性子宮内膜炎となります。

子宮内膜ポリープ



子宮筋腫



慢性子宮内膜炎



○超音波検査や不正出血などの症状で子宮内膜ポリープや子宮筋腫を疑われる方・なかなか妊娠されない方で慢性子宮内膜炎が疑われる方など是非ご紹介ください。

【産婦人科外来へのご予約・ご相談 問い合わせ先】

医療法人あかね会 土谷総合病院
地域医療連携室

TEL: 082-243-9222
FAX: 082-243-9223